



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場会社名 大日本木材防腐株式会社
コード番号 7907 URL <http://www.d-m-b.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 龍一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 堤 時英

TEL 052-661-1502

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	18,307	△2.9	359	27.6	435	24.5	283	29.4
27年3月期第3四半期	18,847	△9.7	281	△29.4	349	△24.2	219	△19.3

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 284百万円 (12.6%) 27年3月期第3四半期 252百万円 (△21.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	72.80	—
27年3月期第3四半期	56.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,556	4,777	28.9
27年3月期	15,709	4,523	28.8

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 4,777百万円 27年3月期 4,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	7.50	7.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,200	△1.8	410	17.3	460	2.0	270	△5.7	69.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する情報(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	4,140,000 株	27年3月期	4,140,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	244,260 株	27年3月期	244,260 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	3,895,740 株	27年3月期3Q	3,895,258 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和の継続を背景に企業収益や雇用環境の改善は進み、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方で、円安による輸入原材料の価格上昇や中国をはじめとするアジア新興国経済の失速懸念が強まるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ事業との関連が深い国内の住宅市場におきましては、雇用・所得環境の改善が続いているほか、政府による住宅取得支援政策の推進や住宅ローンの金利が低い水準で推移していることなどにより、長期化していた消費税増税に伴う反動減から緩やかに持ち直しの傾向が続き、新設住宅着工戸数は70万4千戸（前年同期比4.3%増）となりました。しかしながら、木材事業に特に関係が深い持家や戸建分譲住宅は本格的な需要の回復には至っておらず、低い水準で推移しており、依然厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は183億7百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は3億5千9百万円（同27.6%増）、経常利益は4億3千5百万円（同24.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億8千3百万円（同29.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

木材事業では主に木造戸建住宅の構造材・羽柄材を扱っております。持家や戸建分譲住宅の市況が消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減から本格的な回復に至っておらず、プレカット製品やツーバイフォー用材などの売上げが減少したことにより、売上高は143億6百万円（前年同期比3.7%減）となりましたが、セグメント利益は1億2千5百万円（同15.5%増）となりました。

物流事業では主に子会社の東洋陸運株式会社が住宅関連資材の運送事業及び荷役事業を行っております。戸建住宅市場が低迷するなか、自車両の活用や燃料価格の低下などにより、売上高は33億6千9百万円（同1.3%減）となりましたが、セグメント利益は1億6千万円（同48.0%増）となりました。

不動産事業では賃貸用倉庫や賃貸用マンション等の賃貸業の他、平成26年9月からは太陽光発電売電事業を行っております。売上高は2億9百万円（同14.7%増）、セグメント利益は6千3百万円（同1.1%増）となりました。

木材害虫防除関連事業では防除用薬剤の製造・販売や防除工事等を行っております。消費税増税に伴う反動減の影響が収まり、売上高は4億2千1百万円（同6.5%増）となりましたが、セグメント利益は3千1百万円（同9.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ純資産が2億5千3百万円増加し、総資産が8億4千7百万円増加したため、自己資本比率は0.1ポイント増加し28.9%となりました。増減の主なものは、資産では現金及び預金が5億6百万円、受取手形及び売掛金が2億7千4百万円増加し、有形固定資産が1億7千8百万円減少しました。負債では電子記録債務が7億1千3百万円、支払手形及び買掛金が1億1千6百万円増加し、借入金が1億9千7百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成27年11月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、
「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）
及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,038,414	2,545,009
受取手形及び売掛金	3,751,037	4,025,915
商品及び製品	1,219,751	1,196,853
仕掛品	49,977	56,818
原材料及び貯蔵品	475,767	510,180
未成工事支出金	52,215	131,937
その他	276,057	390,056
貸倒引当金	△7,100	△6,600
流動資産合計	7,856,121	8,850,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,622,266	2,545,222
土地	2,253,030	2,253,030
その他(純額)	740,524	638,626
有形固定資産合計	5,615,821	5,436,878
無形固定資産		
のれん	138,711	92,821
その他	15,330	15,045
無形固定資産合計	154,042	107,866
投資その他の資産		
投資有価証券	1,884,549	1,955,948
その他	242,459	243,124
貸倒引当金	△43,800	△37,400
投資その他の資産合計	2,083,209	2,161,672
固定資産合計	7,853,072	7,706,417
資産合計	15,709,194	16,556,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,955,192	4,071,736
電子記録債務	1,516,380	2,229,828
短期借入金	2,495,324	2,622,006
未払法人税等	61,845	121,329
賞与引当金	172,027	85,577
その他	472,429	482,102
流動負債合計	8,673,199	9,612,579
固定負債		
長期借入金	1,559,990	1,235,416
役員退職慰労引当金	183,153	191,642
退職給付に係る負債	189,356	185,980
資産除去債務	12,100	12,150
その他	568,152	541,795
固定負債合計	2,512,752	2,166,984
負債合計	11,185,952	11,779,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	207,000	207,000
資本剰余金	4,544	4,544
利益剰余金	4,175,792	4,428,486
自己株式	△100,222	△100,222
株主資本合計	4,287,115	4,539,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237,557	240,894
繰延ヘッジ損益	△1,430	△3,679
その他の包括利益累計額合計	236,127	237,215
純資産合計	4,523,242	4,777,023
負債純資産合計	15,709,194	16,556,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	18,847,094	18,307,232
売上原価	16,756,037	16,224,677
売上総利益	2,091,056	2,082,555
販売費及び一般管理費	1,809,219	1,722,926
営業利益	281,837	359,628
営業外収益		
受取利息	120	127
受取配当金	10,285	11,137
為替差益	3,339	760
持分法による投資利益	73,112	71,642
雑収入	11,926	17,129
営業外収益合計	98,784	100,796
営業外費用		
支払利息	20,529	18,596
手形売却損	10,277	6,809
雑損失	268	-
営業外費用合計	31,075	25,405
経常利益	349,546	435,019
特別利益		
固定資産売却益	7,316	7,151
投資有価証券売却益	-	15,886
特別利益合計	7,316	23,037
特別損失		
固定資産除売却損	19,058	3,218
減損損失	-	17,858
特別損失合計	19,058	21,077
税金等調整前四半期純利益	337,804	436,979
法人税等	118,556	153,354
四半期純利益	219,247	283,624
親会社株主に帰属する四半期純利益	219,247	283,624

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	219,247	283,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,520	763
繰延ヘッジ損益	2,044	△2,248
持分法適用会社に対する持分相当額	3,072	2,573
その他の包括利益合計	33,636	1,088
四半期包括利益	252,884	284,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,884	284,712

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	木材事業	物流事業	不動産事業	木材害虫防除 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	14,854,997	3,413,729	182,953	395,413	18,847,094	—	18,847,094
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	87,759	—	—	87,759	△87,759	—
計	14,854,997	3,501,489	182,953	395,413	18,934,853	△87,759	18,847,094
セグメント利益	108,707	108,275	62,784	34,296	314,064	△32,226	281,837

(注)1. セグメント利益の調整額△32,226千円のうち、△34,026千円はのれん償却額であり、1,800千円はセグメント間取引
消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	木材事業	物流事業	不動産事業	木材害虫防除 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	14,306,334	3,369,848	209,824	421,225	18,307,232	—	18,307,232
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	69,547	—	—	69,547	△69,547	—
計	14,306,334	3,439,395	209,824	421,225	18,376,779	△69,547	18,307,232
セグメント利益	125,604	160,241	63,474	31,103	380,423	△20,794	359,628

(注)1. セグメント利益の調整額△20,794千円のうち、△22,684千円はのれん償却額であり、1,890千円はセグメント間取引
消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「木材事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失17,858千円を特別損失に計上しております。